

第2期中期目標期間  
(平成22～27年度)  
自己点検・評価報告書

平成28年3月

財務管理室

# 目 次

- I 中期目標期間の実績概要
- II 特記事項
- III 次期中期目標期間に向けた課題等
- IV 中期計画の実施状況（主担当分）

# I 中期目標期間の実績概要

## 1. 組織の特徴

### (1) 目的

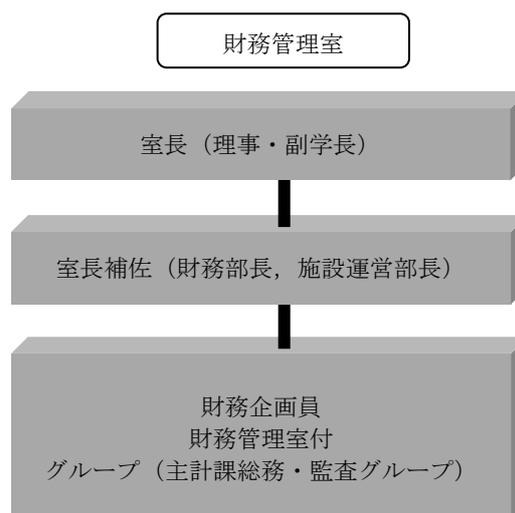
財務管理室は、運営費交付金、自己収入、外部資金等の大学の研究教育環境に関する資金、資産等の状況を把握し、大学の財務戦略の策定、資金及び資産管理会計の取りまとめを行うとともに、学内の予算及び決算を統括し、もって、大学の適切かつ円滑な運営に資することを目的としている。

### (2) 特徴

財務の管理体制について大学全体として戦略的対応をするため、資金及び資産の管理・運用等に関わる事務職員と教員との横断的な融合組織となっている。

### (3) 体制

財務管理室は、財務を担当する理事・副学長を室長とし、財務部長、施設運営部長を室長補佐としている。財務管理室内には、大学専任教員からなる財務企画員が置かれ、室長の命により、大学の資金及び資産の管理・運用等に係る専門的事項について調査研究し、業務の企画立案を行っている。また、財務管理室付として、財務部主計課長、財務部経理課長、財務部契約課長、研究推進部研究企画課長、研究推進部研究資金管理課長、研究推進部産学連携課長、施設運営部施設総合企画課長、すずかけ台地区事務部会計課長等が、財務管理室の目的に関し参画するとともに、当該所属部との連絡調整を図っている。事務については、主計課総務・監査グループが、業務の連絡調整を司っている。



## 2. 実績の概要

### (1) 経費の抑制

財務内容の改善として、予算の執行状況を精査し無駄のない効率的な予算配分を実施し、また、経常的経費のコストダウンにつながる方策や、調達業務の効率化を行った。

**(2) 資産の有効活用**

土地、建物等資産の効率的・効果的な運用方策の検討、学内施設の学外機関等への貸付機会の拡大など、有効な活用を行った。

**(3) 自己収入の確保**

財政基盤の強化の実現のため、自己収入の安定化方策を実施した。

**(4) 資金の運用**

資金運用規程の整備と、基本ポートフォリオの策定を行い、その方針に基づいた効率的・効果的な余裕資金の運用を行った。

## Ⅱ 特記事項

### 1. 優れた点

#### (1) 経費の抑制

##### 【効率的な予算配分】

①各室・事務局等で管理する全ての全学共通予算，及び，部局予算に係る予算執行計画の精査・検証と予算の修正減少により，真に必要な事業に配分するための財源を確保し，より効果的な予算配分を実施した。

②予算執行状況の検証等に基づく，原則，経常的経費（経常的の大学管理業務経費）を前年度比2%削減した予算案を作成（平成24年度予算より実施）し，削減分を重点施策実施経費等に充当することで，より戦略的な予算配分を実施した。

##### 【調達事務の効率化】

①100万円未満の契約事務について，契約担当役の代行機関は契約担当の課長だったところを契約担当のグループ長を代行機関として新たに設置し，調達業務の効率化を図った。

②単年度契約していた清掃業務及び警備業務を2年契約で調達し，調達業務の効率化を図った。

##### 【経費削減】

①旅費計算業務の外部委託契約を締結し，人件費の抑制を図った。

②複写機使用契約について，前契約と比較して1枚当たり単価約15%の経費削減を図った。

③すずかけ台地区の上水供給について，井水を浄化して市水に代えて供給する業務委託契約を締結し，経費削減を図った。また，地震等の大規模災害に備え，水を確保し，ライフライン強化にもなっている。

#### (2) 資産の有効活用

・老朽化した大岡山1，3宿舎を取り壊し，跡地を近隣宿舎入居者用の駐車場として貸与することとした。

・遊休不動産の売却に向けての売却支援業務を行った結果，平成25年度に猿楽荘の売却を実現した。

・平成27年6月より田町地区駐車場の一時的に使用していない部分について，民間業者へ業務委託を行い，維持管理費として年額約1,700万円の収入増となった。

・利用率の低い八十年記念会議室一般宿泊室及び大岡山宿舎C棟について，有効活用方策として使用用途の変更を実施した。

#### (3) 自己収入の確保

・学内等に設置の自動販売機について，平成23年度に設置運営業者を選定する公募

を実施し、2社の業者選定を行った。その結果、財産貸付料について前年度から約1,478万円増加となった。

・一時貸付料単価について、毎年度市場調査を行い、調査結果を踏まえ一時貸付料の見直しを図った。その結果、貸付件数の増加による影響と合わせて、平成27年度の貸付料は前年度比約1,200万円の増加となった。

#### (4) 資金の運用

・資金運用規程の見直しを行い、安全性を考慮しつつ、新規取引先の開拓及び新規の運用商品で効率的・効果的な運用を行うことで超低金利の運用環境の中、受取利息比率は国立大学法人の中で全国トップクラスの運用益を確保した。なお、その運用益については他の予算と合わせたくて、教育研究の充実や学生支援等に活用した。

## 2. 特色ある点

### (1) 財務状況の検証

毎月開催している財務管理室会議では、資金繰りについて確認し、収入・支出の状況把握を行っている。また、人件費・光熱費については個別の検証を行い、状況把握を行うと同時に、全学的な経費削減の方策を講じている。さらに、会計検査院の結果だけでなく、日常書面監査の結果も定期的に財務管理室会議に報告することで、不適切な経理支出の防止に繋がる管理運営を行っている。

財務管理室会議での検証事項は、役員会等に報告し、経営判断の指標となっている。それにより、役員会と財務管理室の問題意識が共有化され、大学の機動的・戦略的研究体制の構築に寄与している。

### Ⅲ 次期中期目標期間に向けた課題等

#### (1) 財務状況の分析を行い、一般管理費率を抑制する

第2期中期目標期間に引き続き、大学の管理業務に係る経常的経費の削減を進めるため、情報活用IR室と連携し財務状況の分析を行うことで、一般管理費を抑制するための方策を検討・実施することが課題となる。

#### (2) 余裕金の効率的・効果的な運用

資産の運用管理の改善に関する取組として、余裕資金の運用環境に鑑み、第2期中期目標期間に引き続き余裕金運用規程やポートフォリオの見直し等により、より効率的・効果的な余裕金の運用を行うことが、厳しい財政事情の中での課題となる。

#### (3) 宿舍及び寄宿舍の整備方針の検討

資産の運用管理の改善に関する取組の2つめの方策として、老朽化した宿舍の運用と、外国人留学生受入のための寄宿舍の整備方針を策定することが課題となっている。

#### 《第1期中期目標期間において抽出した課題の改善状況》

##### (1) 将来構想や中期目標実現のための戦略的・効果的な予算管理

財政基盤の強化を機動的・戦略的に展開するためには、第1期中期目標期間に引き続き、大学の管理業務にかかる経常的経費の見直しによる更なるコスト削減が一つの課題となってくる。また、教員当たり経費、学生当たり経費の見直しによる効果的な予算配分の実施が大学の戦略的・効果的な予算管理の課題となる。

##### (改善状況)

大学の管理業務にかかる支出原因契約について、単年契約を複数年契約とすることや、仕様書の見直し、また消耗品の購入方法の見直し等により、調達業務の効率化及び経常的経費の削減を行った。さらに、各室・事務局で管理する全ての全学共通分予算に係る予算執行計画を随時見直し、確認することに加え、各部局で管理する予算に対しても予算執行計画の見直し等による予算修正減少の協力を依頼した。これらに基づき、修正予算において、経常経費予算の修正減少を行い、真に必要な事業に予算の再配分を実施した。

##### (2) 効率的・効果的な資金運用及びリスク管理

厳しい経済状況のなかで、安全で安定的な収入を確保するためには、第1期中期目標期間の経験を基とし、積極的に資金運用すると同時に、リスクを十分考慮した分散投資を徹底する必要がある。そのための取組みとして、基本ポートフォリオの策定とその方針に基づいた運用を行うことが課題となってくる。

##### (改善状況)

資金運用規程（ポートフォリオ含む）の改定を行い、新規取引先の開拓や証券会社が行うセミナー等への積極的な参加を行い情報収集すると共に、改定した規程に則つ

て安全性を考慮しつつ新規の運用商品で効率的・効果的な運用を行うことで、超低金利の運用環境の中、第2期中期目標期間中、高い受取利息を維持した。

### (3) 自己収入安定化策の策定

第1期中期目標期間においては、固定資産（土地、建物）の稼働率の算出・検証・分稼働率の低い宿舎や合宿研修所の廃止など、効率的な固定資産の運用の方策を講じてきた。今後は、廃止した宿舎・合宿研修所の跡地利用、譲渡・売却への検討を進めるとともに、既存の土地・建物等を学外機関へ貸し出すなど、全学的視野に立って、更なる自己収入の安定化を進めることが課題となる。

#### (改善状況)

廃止した宿舎を取り壊し、跡地を近隣宿舎入居者や一部外部向けの駐車場として運用を行い、また遊休不動産の売却・譲渡を実施した。また、利用率の低い宿舎や学内施設について、廃止及び用途変更を行い、有効活用に向けた検討を行っている。学内施設の学外への貸付について、貸付範囲の拡大を図り、また市場調査を行い貸付料単価を毎年度見直すことで貸付料の安定化に取り組んだ。

学内等に設置の自動販売機については、設置運営業者を選定する公募を実施することで、財産貸付料の増収に繋がった。

## IV 中期計画の実施状況（主担当分）

中期計画【56】「予算の執行状況等を精査するとともに、コスト削減に取り組む。」に係る状況

予算のより適切な執行管理を行い、コスト削減を図るため、以下の取組を実施した。その結果、一般管理費は、第1期中期目標期間最終年度である平成21年度と比し、全ての年度において抑制できた。

・各室・事務局等で管理する全ての全学共通予算に係る予算執行計画の確認と予算の修正減少

- ・部局予算に係る予算執行計画の見直しと予算の修正減少
- ・予算執行状況の検証等に基づく、原則、経常的経費（経常的学管理業務経費）を前年度比2%削減した予算案の作成（平成24年度予算より実施）
- ・100万円未満の契約事務について、契約担当役の代行機関は契約担当の課長だったところを契約担当のグループ長を代行機関として新たに設置し、調達業務の効率化を図った。
- ・単年度契約していた清掃業務及び警備業務を2年契約で調達し、調達業務の効率化を図った。
- ・旅費計算業務の外部委託契約を締結し、人件費の抑制を図った。
- ・複写機使用契約について、前契約と比較して1枚当たり単価約15%の経費削減を図った。
- ・すずかけ台地区の上水供給について、井水を浄化して市水に代えて供給する業務委託契約を締結し、経費削減を図った。また、地震等の大規模災害に備え水を確保し、ライフライン強化にもなった。

なお、上記のうち、全学共通管理予算と部局予算については、平成27年度には全学共通管理予算に係る予算執行計画を精査・検証することに加え、各部局で管理する予算に対しても予算執行計画の精査・検証を行った。これらに基づき、修正予算において、経常経費予算の修正減少を行い、1億8,800万円の財源を確保し、学士課程1年次実験科目の実験機器等の追加・更新導入、各キャンパス防災・安全対策等改修工事など大学運営上、緊急で真に必要な事業に予算の再配分を実施した。

また、調達業務の効率化については、2年契約だった清掃業務を平成28年度からの契約を3年契約で調達を実施することで、効率化を図った。

中期計画【57】「土地・建物等の資産活用計画を策定し、有効に活用する。」に係る状況

土地・建物等の資産活用計画として、老朽化した宿舍の廃止を策定し、取り壊しを行った。また、有効活用するため下記事項等について実施を行った。

- ・一時貸付料について市場調査等の結果を踏まえ料金の見直しを行ったこと等により、平成 27 年度は平成 22 年度と比較し、年額約 1,300 万円の収入増となった。
- ・自動販売機業者の公募  
平成 27 年度は平成 22 年度と比較し、年額約 4,300 万円の収入増となった。
- ・携帯用アンテナ設置  
平成 27 年度は平成 22 年度と比較し、年額約 1,100 万円の収入増となった。

さらに、第 2 期中期目標期間の最終年度である平成 27 年度には田町地区駐車場の一時使用していない箇所について、民間業者へ業務委託を行い、維持管理費として年額約 1,700 万円の収入増となった。また、既存建物の一部を学内保育所として活用することについて検討を行い、平成 29 年度の開設に向けて準備を進めた。

中期計画【58】「資金運用規程を整備し、基本ポートフォリオの策定とその方針に基づいた効率的・効果的な余裕資金の運用を行う。」に係る状況

余裕資金の運用においては、資金運用規程の見直しを行い、安全性を考慮しつつ、新規取引先の開拓及び新規の運用商品で効率的・効果的な余裕資金の運用を行うことで超低金利の運用環境の中、受取利息比率は国立大学法人の中で全国トップクラスの運用益を確保した。

なお、第 2 期中期目標期間の最終年度である 27 年度には以下の取組を実施した。

- ・証券会社が行うセミナー等に参加し、積極的に情報収集を行った。
- ・26 年度同様、短期運用に関しては利率の良い金銭信託及び外国銀行の預金で積極的に運用を行った。また、情報収集の結果、本年度は新規取引先の利率の良い商品で運用を行った（大和ネクスト銀行の定期預金）。
- ・満期（償還）となった長期運用に関しては、超低金利の運用環境の中、安全性を考慮しつつ現状と同等以上の運用益を確保するために、運用期間を延ばし、銀行が解約選択権を有している自由金利型定期預金及び米ドル・豪ドルの為替で利率が決定する外国債券（円 100%償還）で再運用を行った。
- ・余裕資金の運用結果として、利息を 5,930 万円受入れた（損益計算書ベース）。